

みさと自主防災報

～私たちの街は
私たちが守る～

平成9年12月15日

第1号

発行 三郷市自主防災組織連絡協議会
事務局 三郷市総務部防災対策室
〒341 埼玉県三郷市幸房1155
TEL 0489(52)1294
FAX 0489(52)6780



撮影：三郷市・中山健次氏

「災害は忘れた頃にやってくる!!」

いざというときのために
初期消火や、避難ができるよう
日ごろから訓練しておこう

「みさと自主防災報」創刊によせて



皆様には益々ご健壮にて、ご活躍されていることお慶び申し上げます。去る3月1日、三郷市自主防災組織連絡協議会結成総会におきまして会長に選出されました丹後上町会自主防災会の今井栄三郎でございます。

阪神・淡路大震災をみるとまでもなく地震列島における厳しい状況のなか、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。微力ながら一生懸命努力いたす所存でございますが、皆様のご理解ご協力を衷心よりお願い申し上げます。

さて、平成9年度本会総会におきまして、本年度事業計画および予算案を提案させて頂きましたところ、慎重なるご審議並びにご承認を賜りました。本年度事業計画の一つに「機関紙の

三郷市自主防災組織連絡協議会

会長 今井 栄三郎

発行」が承認されまして、「みさと自主防災報」創刊号が本日発行の運びとなりました。「私たちの街は、私たちが守る」と大きなテーマを掲げましたが、なにぶんにも初めての試みでございますので、お見苦しい点など山積されたままの発行となりました。皆様の暖かいご意見・ご批判を頂戴いたしまして、皆様に愛される「みさと自主防災報」に育てたいと存じます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

私ごとで申し訳ありませんが、本会の会合や講演会に参加いたしまして、防災に対して新たに認識することが多々ございました。本会本年度事業といたしましても、各自主防災組織との情報交流会や講演会の開催を計画しております。皆様の積極的なご参加を頂き、より安全な地域社会づくりのお役に立てましたら幸いと存じます。重ねまして、皆様のご理解ご協力をよろしくお願ひ申し上げる次第でございます。

三郷市自主防災組織連絡協議会設立までの経緯

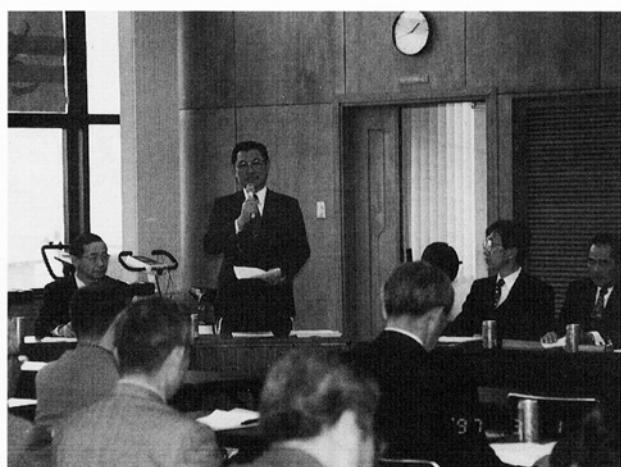
三郷市内に70近い自主防災会が結成されていく中で、「他の街の自主防災会の活動状況を知る機会があれば、自分たちの活動にも役立てられる。」「活動資金や防災資機材の購入などについて情報交換がしたい。」との声が出されてきました。

市の防災担当から「情報交換や研修等が実施されれば、さらに、活動の充実強化を図ることができる。」と、平成8年12月、三郷市自主防災組織連絡協議会結成に向けての説明会が市内を6ブロックに分けて行われました。

説明会において「協議会の必要性は十分理解できる。」との賛意を得ました。平成9年1月、協議会設立準備委員会を設立し、20名の設立準備委員を選出しました。さらに、設立準備委員の中から委員長など8名の設立準備委員会役員を選出し、設立へむけての活動が始まりました。

まず、協議会設立準備委員会委員長に今井栄

三郎丹後上町会会长を選出し、この委員会では「会則、役員、事業計画、予算」などについて協議を行い、結成総会への準備を行いました。今年3月1日、結成総会におきまして協議会会則が承認され、全ての自主防災会会长が加入した協議会活動がスタートしました。



平成9年度事業計画および予算の概要

平成9年度の総会におきまして、承認されました本年度事業計画及び予算の概要は次のとおりです。

平成9年度事業計画

平成9年6月 講演会

平成9年6月 埼玉県自主防災組織連絡協議会総会参加

平成9年6月 第46回利根川水系連合水防演習視察

平成9年11月 ブロック別情報交流会

(平成10年3月までに数回開催)

平成9年12月 機関紙の発行

平成10年1月 講演会

平成10年2月 防災施設見学会

また、本年度予算の概要は、会費、三郷市補助金および前年度繰越金の合計約100万円の収入を見込みました。支出といたしましては、講演会経費、機関紙発行費用およびブロック別情報交流会会議費などの事業費と事務経費などを計上いたしました。

(平成9年度総会議案書より)

**災害におそわれたその時
だれかに助けられる私より
だれかを助けることのできる
私でありたい**

埼玉県自主防災組織連絡協議会 通常総会に参加

第9回通常総会が6月10日埼玉県県民活動総合センター(伊奈町)において、県及び各市町村の自主防災関係者の参加のもと盛大に開催されました。

総会終了後に、「地域社会の防災力」というテーマで、ボランティアグループACT NOW(アクト・ナウ)代表浅井久仁臣氏と江戸川大学社会学部大矢根淳先生の講演がありました。

講演の中で浅井久仁臣氏は、阪神・淡路大地震の時には、震災直後から被災地に入り、被災者の支援活動をされた防災ボランティアの立場から、過去の災害にもいえることですが、今回の阪神・淡路大震災の教訓が、今日の防災にいかされていない。それは、被災直後は行政もマスコミも関心を持って報道等がされたが、その後どうなったのか、また、どうしてそうなったのかについて知らされていない。現在も被災地では、色々な悩みがあり、それを解消する活動がおこなわれていることを知って欲しい。そして、多くの教訓を広く知らせ、それを生かしていくべきではないか、とのお話がありました。

また、大矢根淳氏からは、社会構造について、社会・地域・家とみた中で、私達は社会の一員であることを認

講演「自主防災組織への期待」を拝聴して

幹事 飯倉 道雄

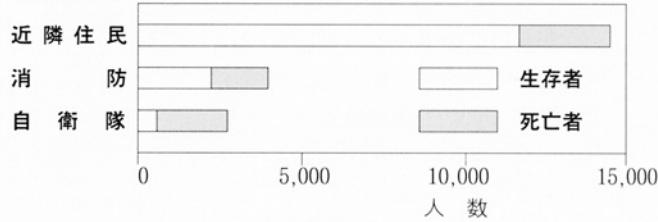
本年度総会(6月14日)終了後、本年度の最初の事業として、(財)消防科学総合センター 黒田 洋司氏による講演会が開催されました。講演の要旨は、

1. 自主防災組織は、自分とその家族のために不可欠
2. 平常時の防災訓練が重要
3. 災害時の近隣の安全確認が多くの命を救うこと
4. 自主防災組織を活性化する方法

と、興味ある有益なお話の連続でした。特に、阪神・淡路大震災における「住民の助け合い・消防隊・自衛隊による救出者数に占める生存者数」に関するデータ(下図)にはショックを受けました。一刻を競う災害救助においては、ご近所の皆さんとの冷静な行動が多くの命を救うことを感じました。常日頃からの近隣と連携した防災訓練が大切であることを改めて学びました。

救出者数に占める生存者数

救出主体



識すべきではないか。例えば、会社に勤める人は会社員であり会社人であって社会人ではない。だから、会社員は災害が発生すれば、いち早く会社人として会社へ出勤してしまう。災害については私達は社会人であることをもっと認識することが必要です。そして、自分の危険、家族の危険を認識することからはじまり、自分の命は自分で守るために、どうしたら良いかを考えて欲しい。

そこで、行政がよくいうことに1日目は自分達で、2日目は地域で、3日目以降から市町村等の支援がはじまると言います。それでは、地震が発生してから1時間2時間は、どうするのかということになります。そこで、自主防災会は何をするのかを、一人ひとりが考えて行動する上でも、防災地図を作成し、図上演習を行なうことを提案します。

これは、地域の情報をお互いに図面に記入することから、地域を知ることができ、災害が発生した時に、どこが危険であるか、またどのように行動したらよいのか、お互いに何をしたらよいのかを知る上でも、図上演習を一度自主防災会として実施してはどうでしょうか、のお話がありました。

なお、本協議会の会長並びに役員2名がこの総会に参加し、総会それに講演会については、多くの会員の皆様に参加していただけるような機会をつくるべきだと話しながら帰ってきました。

講演会のご案内

災害・環境ボランティア「ACT NOW」代表 浅井久仁臣氏をお迎えして、下記の通り講演会を開催いたします。ご参加ください。

記

日時 平成10年1月24日(土)

午後2時より4時まで
(開場 午後1時30分~)

場所 三郷市文化会館 小ホール

演題 「災害ボランティアと
自主防災」

～戦争特派員がボランティアに
なった理由(わけ)～

講演内容

- ☆ 戰爭取材から見た日本の危機管理
- ☆ 非常時型指導者不在の日本
- ☆ 神戸での活動とその教訓
- ☆ ボランティア活動の実態
- ☆ ACT NOW 災害救助隊
- ☆ 災害教育への提言
- ☆ 埼玉県ボランティア連絡協議会構想



三郷市自主防災組織連絡協議会役員

(任期 平成9.3.1~平成11.3.31)

- | | |
|-----|-------------------------------|
| 会長 | 今井 茂三郎
(丹後上町会自主防災会) |
| 副会長 | 倉骨 庄治
(戸ヶ崎美郷町会自主防災会) |
| 副会長 | 谷口 昭作
(谷口南町会自主防災会) |
| 幹事 | 立澤 敏正
(新和1丁目町会自主防災会) |
| 幹事 | 飯倉 道雄
(みさと第一住宅自主防災会) |
| 会計 | 石出 利勝
(鷹野5丁目鎌倉町会自主防災会) |
| 監事 | 外谷 寅治
(戸ヶ崎2丁目西町会自主防災会) |
| 監事 | 藤井 経義
(三郷早稲田第一住宅管理組合自主防災会) |

三郷市自主防災組織連絡協議会加入団体一覧

(平成9.12.1現在)

彦成地区

谷口南町会自主防災会
谷口北町会自主防災会
谷口西町会自主防災会
上口町会自主防災会
彦野町会自主防災会
彦成1丁目町会自主防災会
彦成2丁目町会自主防災会
采女町会自主防災会

みさと団地地区

みさと第一住宅自主防災会
みさと団地第二住宅管理組合自主防災会
みさと団地第三住宅管理組合自主防災会
みさと団地第四住宅管理組合自主防災会
みさと団地第六住宅管理組合自主防災会
みさと団地自治会二街区自主防災会
みさと団地十街区自主防災会
みさと団地十一街区自主防災会
みさと団地十四街区自主防災会

東和西地区

戸ヶ崎1丁目下町会自主防災会
戸ヶ崎2丁目東町会自主防災会
戸ヶ崎2丁目西町会自主防災会
戸ヶ崎2丁目南町会自主防災会
戸ヶ崎3丁目上町会自主防災会
戸ヶ崎3丁目南町会自主防災会
戸ヶ崎4丁目町会自主防災会
戸ヶ崎5丁目町会自主防災会
戸ヶ崎美郷町会自主防災会
戸ヶ崎6丁目町会自主防災会
戸ヶ崎7丁目東町会自主防災会
戸ヶ崎7丁目西町会自主防災会
戸ヶ崎8丁目上町会自主防災会
戸ヶ崎8丁目下町会自主防災会
栄1丁目町会自主防災会
栄2丁目町会自主防災会
栄3・4丁目町会自主防災会
栄5丁目町会自主防災会

早稲田地区

半田町会自主防災会
みどり町会自主防災会
丹後上町会自主防災会
丹後下町会自主防災会
早稲田1丁目町会自主防災会
早稲田つつみ町会自主防災会
大広戸町会自主防災会
仁蔵町会自主防災会
幸房上町会自主防災会
幸房下町会自主防災会
谷中町会自主防災会

早稲田団地地区

三郷早稲田第一住宅管理組合自主防災会
三郷早稲田3-2自治会自主防災会
三郷早稲田第四住宅管理組合三丁目自主防災会
三郷早稲田第四住宅管理組合五丁目自主防災会
三郷早稲田第10団地管理組合自主防災会
三郷早稲田第11団地管理組合自主防災会

東和東地区

市助町会自主防災会
新和1丁目町会自主防災会
新和2丁目町会自主防災会
新和3丁目町会自主防災会
新和4丁目町会自主防災会
新和5丁目町会自主防災会
鷹野1丁目長戸呂町会自主防災会
鷹野1丁目八木郷町会自主防災会
鷹野2丁目町会自主防災会
鷹野東町会自主防災会
鷹野3丁目西町会自主防災会
鷹野4丁目町会自主防災会
鷹野5丁目鎌倉町会自主防災会
鷹野5丁目寄巻町会自主防災会
東町上町会自主防災会
東町みなみ町会自主防災会
高州1丁目上町会自主防災会
高州1丁目下新田町会自主防災会
高州1丁目仲町会自主防災会
高州2丁目本町会自主防災会
高州2丁目みどり町会自主防災会
高州3丁目東町会自主防災会
高州3丁目水里町会自主防災会
高州4丁目東町会自主防災会
高州4丁目西町会自主防災会

**安全な街づくりを
目指して!!
私たちの街は
私たちが守る**

編集後記

- ・とりあえず、「みさと自主防災報」第1号の発行にこぎつけました。
- ・本紙に関するご意見や防災に関するご提案など事務局までお寄せください。次号以降に役立てたいと思います。
- ・慣れない広報担当ですので、こんなに余白を残してしまいました。割り付けの難しさが身にしみます。
- ・これまで原稿をそろえてやっと印刷所へ届けることができます。やれやれ。
- ・もういくつ寝るとお正月、お正月にはタコ買って、盆まわして騒ぎましょう。失礼!!。皆様、ご自愛されて、良いお年をお迎えください。(M)